

日本の成長へ重要な年

太田議長 山梨県本部の集いで強調



党山梨県本部の「新春の集い」であいさつする太田議長（左端）
＝11日 山梨・昭和町

公明党の太田昭宏全国議員団会議議長は11日、山梨県昭和町で開かれた党同県本部（安本美紀代表＝県議）の「新春の集い」に出席し、あいさつした。高木陽介幹事長代理（衆院議員）、興水恵一前衆院議員も参加した。

太田議長は、山梨県の振興について、六郷インターチェンジ（山梨県）―新清水ジャンクション（静岡市）間の開通をめざす中部横断自動車道の重要性を指摘。清水港が、国土交通省からクルーズ船による訪日客誘致や農水産物輸出の拠点に定められたことなどを踏まえ、「山梨の魅力はますます大きく発展していく」と力説した。

一方、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて「日本が伸びゆくかど

うか重要な2年半になる。特に今年が勝負だ」と述べ、公明党は全力で仕事をしていくと訴えた。高木幹事長代理は、中小

企業支援について、公明党の主張で17年度補正予算、18年度予算案・税制改正の中に、事業承継税制の抜本拡充、「ものづくり補助金」の継続、新たな設備投資にかかる固定資産税の減免措置が盛り込まれたと強調した。

新春の集いでは、来賓の後藤齋山梨県知事、田中久雄中央市長（同県市長会長）らがあいさつした。